

小学校第5学年 図画工作科学習指導案

題材名： 自分の思いを絵の具にこめて「魔法のじゅうたんでレッツゴー！」

指導者 呉市立横路小学校 教諭 河村 陽子

【基礎的な知識・技能】

水彩絵の具の基本的な使い方を身に付けている。

【つながり】

自分の思いを表現するという意識をもって、主体的に表し方を工夫して豊かに表現することができる。

【応用・ひろがり】

水彩絵の具を使った他の表現方法を見付け、自分の作品に生かしていく。

- 1 日 時 平成 27 年 6 月 24 日(水) 第 4 校時 (10 : 25～11 : 10)
- 2 学 年 第 5 学年 2 組 (38 人)
- 3 場 所 図画工作室
- 4 題材名 自分の思いを絵の具に込めて「魔法のじゅうたんでレッツゴー！」
- 5 題材について

○ 題材観

本題材は、小学校学習指導要領図画工作 第 5 学年及び第 6 学年の目標 (2)「材料などの特徴をとらえ、創造力を働かせて発想し、主題の表し方を構想するとともに、様々な表し方を工夫し、造形的な能力を高めるようにする。」に基づき、内容 A 表現 (2)「感じたこと、想像したこと、見たこと、伝え合いたいことを絵や立体、工作に表す活動を通して、次の事項を指導する。」及び、〔共通事項〕(1)を受けて設定した。指導事項「ア 感じたこと、想像したこと、見たこと、伝えたいことから、表したいことを見付けて表すこと。」「イ 形や色、材料の特徴や構成の美しさなどの感じ、用途などを考えながら、表し方を構想して表すこと。」「ウ 表したいことに合わせて、材料や用具の特徴を生かして使うとともに、表現に適した方法などを組み合わせて表すこと。」のねらいを達成するために行う。

本題材は、魔法の絨毯に乗って、自分の行ってみたいところ、見てみたい世界、未来の世界などの自分のイメージする空想の世界を絵に表す活動であり、児童が主体的に考えて自分の思いを豊かに表現する力を育成することをねらいとしている。児童にとって、想像を膨らませやすく、着彩の際には、表現の広がり期待できる。「こう表したい」「こんな感じにしたい」という思いを表現するために、絵の具の濃淡や色合い、筆のタッチなどを変化させたり、身近な用具を用いたりするなどの工夫によって多様な表現を効果的に活用し、自分の思いを豊かに表現することのできる題材である。

○ 児童観

児童に行った図画工作科に対する意識調査によると、「図工が好き、どちらかというと好き」と答えた児童は 89.5%であったが、絵に表す活動においては 63.1%となり、肯定的に捉える児童は 26.3%も減少している。また、「どちらかというと嫌い、嫌い」と絵に表す活動に対して否定的な答えをした児童は 36.8%おり、その理由としては、「下手だ」「うまく描けない」「きれいに描けない」ということを挙げている。さらに、「どちらかというと好き」と答えた 28.9%の児童のうち、およそ半数の児童も、「あまり絵がうまく描けない」「上手に描けるとときと、描けないときがある」など、作品の上手、下手を気にしている。クラス全体では、81.7%の児童が見たままに描かれた絵や、本物そっくりに描かれた写実的な表現の絵が上手な絵だと捉えており、そういった上手な絵を描けるかどうか、「絵に表す活動」に対する意欲に大きく影響を与えていることが分かる。

着彩を行っている時の意識については、「かすれないように」「にじまないように」と答えた児童がそれぞれ 32%、45%おり、かすれやにじみを表現方法として認識せず、塗り絵のように塗ろうとしている児童がかなりの数に上っている。「何も考えずに塗っている」と答えた児童も 28.9%いた。また、具体的な場面を想像し、どのような表現の工夫を行うかを尋ねる問題では、31.6%の児童しか具体的な

表現方法を考えることができなかった。これらのことから、着彩をする場面において、自分の思いを表現するために、ふさわしい表現方法を考えながら活動することに大きな課題があると捉えた。

○ 指導観

指導に当たっては、特に着彩の場面に焦点化した指導を行う。ただ漠然と塗るのではなく、「こう表したい」「こんな感じにしたい」という自分の思いを具現化するために、どのような表現をすればよいのか、色や表現方法を考えさせて表現の工夫をさせる。そのために、「思い」と「表現の工夫」をつなげる「表現ブック」（児童向けの呼称「〇〇（児童の名前）のカラフルブック」）を活用する。これは、児童が今まで体験してきた様々な表現方法と、その表現からイメージできる「ことば」を1冊にまとめたものである。児童には、この「表現ブック」を見させながら、自分の思いを表すのにふさわしい表現方法を選ばせ、着彩させる。また、鑑賞の際にも、「表現ブック」を活用しながら、自分はどういう思いを、どの表現方法で表したのかなどを伝え合わせたり、より効果的な表現方法をアドバイスし合わせたりする。このように、作品製作や鑑賞活動の場で「表現ブック」を活用することで、「思い」と「表現の工夫」をつなげ、主体的に考えて自分の思いを豊かに表現する力を育成する。

6 題材の目標

- 自分の思いを表すための表現に関心を持ち、考えながら工夫して絵に表す。

7 評価規準

評価規準			
造形への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
自分の思いをもって、表現方法に関心を持ちながら取り組もうとしている。	自分の思いが表れるような、表現の方法を考えている。	自分の思いが表れるように、表現方法を考えながら工夫して表している。	友人と作品の交流をしながら、作者の思いと表現の工夫を捉え、作品のよさや面白さを感じ取っている。

8 指導計画（全6時間）

時	主な学習活動	評価規準
1	・魔法のじゅうたんに乗って、どんなところに行きたいか想像を膨らませながら下絵を描く。	・想像を膨らませ、自分の描きたい世界を具体的なイメージをもちながら表そうとしている。【造形への関心・意欲・態度】 ・想像を膨らませながら、自分のイメージした世界を考えている。【発想や構想の能力】
2 3	・表現ブックを活用しながら、自分の思いを表す表現方法を考え、工夫して表現する。	・表現ブックを基に、自分の思いが表れるような表現方法を考えている。【発想や構想の能力】 ・自分の思いが表れるように、色合いや筆のタッチ、用具など、表現方法を考えて表し方を工夫している。【創造的な技能】
4 (本時) 5	・製作途中の作品を鑑賞し合い、友人の表現のよさを見付けたり、今後の自分の表現方法を見直したりする。 ・自分の思いをより表すために、更に工夫しながら着彩をする。	・表現ブックを基に、自分の思いを表現するための方法を考えている。【発想や構想の能力】 ・更に自分の思いが表れるように、色合いや筆のタッチ、用具など、表現方法を考えて表し方を工夫している。【創造的な技能】
6	・出来上がった作品を「作品クイズ大会」で互いに鑑賞し合い、作者の思いと表現の工夫を捉えて、作品のよさや面白さを感じ取る。	・友人と作品の交流をしながら、作者の思いと表現の工夫を捉え、作品のよさや面白さを感じ取っている。【鑑賞の能力】

9 本時の展開（４・５時間目／全６時間） 本時 （４校時 10：25～11：10）

(1) 本時の目標

- ・「表現ブック」を基に、更に自分の思いが表れるように、色合いや筆のタッチ、用具の工夫など、表現方法を考えながら表す。

(2) 学習の流れ （４・５時間目／全６時間） 本時

学習活動 【課題発見・解決学習の過程】	指導上の留意事項（◇） （◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て）	評価規準〔観点〕 （評価方法）
1 課題意識をもつ。 【課題の設定】	◇これまでの活動を振り返り、本時の活動を確認する。 ・「表現ブック」を活用して、自分の思いと表現方法を考えながら色付けをしてきたことを振り返らせる。	・「表現ブック」を基に、自分の思いを表現するための方法を考えている。 〔発想や構想の能力〕 ・更に自分の思いが表れるように、色合いや筆のタッチ、用具など、表現方法を考えて表し方を工夫している。 〔創造的な技能〕 （行動観察，作品）
2 本時のめあてを確認する。	自分の思いと表現方法がつながっているかを見直し、カラフルブックを基に、更に自分の思いを表すための表現方法を考えて表そう。	
3 自分の思いと表現方法を比較しながら鑑賞し合う。 【情報の収集】【整理・分析】	◇どんな思いを伝えるために、どんな表現方法を選んで表したのかを、「表現ブック」を用いながら伝えるようにさせる。 ◇友人の思いが表現とつながっているかという視点で聞くようにさせる。 ◆表現の工夫が見られない児童に対しては、「表現ブック」を活用しながらアドバイスをするようにさせる。 ◆思いと表現方法がうまくつながっていない児童には、友人からアドバイスをもらうことで、今後の活動へつなげるようにさせる。	
4 全体場で紹介する。	◇表現から思いが伝わった児童や、友人からのアドバイスが参考になったという児童に発表させることで、本時の活動の見通しをもたせる。	
5 よりよい表現方法を考えながら色を付ける。 【創造・表現】	◇鑑賞で気付いたことや、アドバイスをしてもらったことを生かして、自分の思いを表すためのよりよい表現方法を考えながら、色を付けさせるようにする。	
6 本時のまとめをする。	自分の思いを表すためにふさわしい表現方法を考えたり工夫したりすることで、いろいろな表現を作品に生かすことができる。	
7 本時を振り返り、次時につなげる。 【振り返り】	◇次回の活動の見通しをもたせる。	